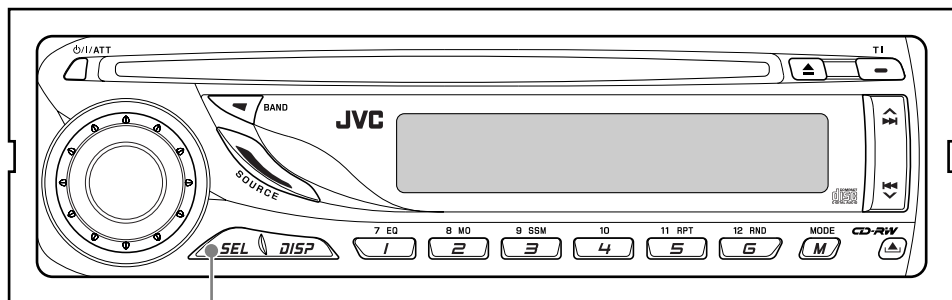


CDレシーバー

型名 KD-S540 KD-S550



デモ表示について

本機を20秒以上操作しないと、自動で表示窓がデモ表示に変わります。解除するときは、**19**ページの「SELボタンを使った各種設定と調節」をご覧になり「DEMO OFF」に切り換えてください。詳しくは**19**ページの「PSMモードの一覧」をご覧ください。

〈お知らせ〉

- お買い上げ時は、コントロールパネルが本体から外れています。**22**ページの「コントロールパネルの着脱」をご覧になり、本体に取り付けてください。

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

CD-RW

— お買い上げありがとうございます —

⚠️ご使用前に

この「取扱説明書」と別紙の「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ

	ページ		ページ
● 安全上のご注意	3~5	● SELボタンを使った各種設定と調節	19
● 使用上のご注意	6、7	・ PSMモードの設定方法	19
・ ディスクの取扱いについて	7	・ PSMモードの一覧	19
● コントロールパネルの使いかた ...	8	・ PSMモードの機能説明	19
・ 各部の名前	8	● C-EQの使いかた	20
● 基本操作	9	・ EQパターンを選ぶ	20
● 時計を合わせる	10	● 音量・音質の調節	21
● ラジオを聞く	11~14	● コントロールパネルの着脱	22
・ 放送局を選ぶ	11	・ コントロールパネルを外す	22
・ アンテナリモートについて	11	・ コントロールパネルを取り付ける ...	22
・ FM放送が雑音で聞きにくいときは ...	12	● 故障かな？と思う前に	23、24
・ 放送局を自動で記憶(メモリー)させる ...	12	・ こんな表示のときは	24
・ 時刻を確認する	13	● 保証とアフターサービス	25
・ 放送局を選んで記憶(メモリー)させる ...	13	● 主な仕様	26
・ 放送局を呼び出す(プリセット選局) ...	14	● 索引	27
・ 道路交通情報を聞く	14	● お手入れ	裏表紙
● ディスクを再生する	15~18	・ 本体の清掃	裏表紙
・ ディスクを再生する	15		
・ CD-R/CD-RWディスクについて ...	15		
・ ディスク挿入後の表示について	16		
・ 再生中の表示内容を変える	16		
・ 早送り/早戻しをする(サーチ)	16		
・ 頭出しをする(スキップ)	16		
・ ダイレクト再生	17		
・ リピート再生	17		
・ ランダム再生	18		
・ ディスクの盗難防止	18		
・ ディスクのお手入れ	18		

安全上のご注意

—はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



手をはさまれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



一般的指示

安全上のご注意(つづき) –はじめにお読みください–

警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車内に飲みかけのパック飲料等を放置しない。



- ・カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



- ・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起きたら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

自動車を運転中に音量調節などの操作をしない。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

本機の通風孔や放熱板をふさがない。



- ・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。



- ・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

ディスク挿入口に異物を入れない。



- ・火災や感電・故障の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手や指を入れない。



- ・けがの原因となることがあります。

手はさまれないよう注意

本機を車載用以外には使用しない。



- ・感電やけがの原因となることがあります。

使用上のご注意

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーは、アンプの出力(1チャンネル当たり45W)に対し入力に十分余裕があり、インピーダンスが4Ω～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気が多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また**操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。**
- ・ステレオの音量は、お客様の心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後、ディスクを使用するときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。
(使用温度範囲:0℃～+40℃)

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してディスクが正常に再生できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別紙の取付説明書の通りにしてください。

既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの \ominus 側が車の金属部に接続されていたり、 \ominus 側同士が接続されていると故障の原因になります。

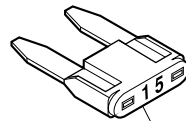
*BTL:Balanced Transformerlessの略

2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



ヒューズ(15A)

●携帯電話を使用する場合は…

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。ただし、運転中に携帯電話を使用すると、法律により罰せられます。

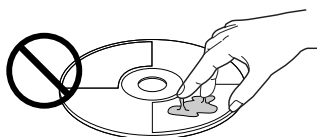
ディスクの取扱いについて

● **CD/CD-R/CD-RWを保管するときは**
専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。

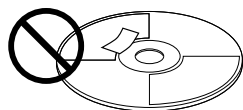
● **CD-R/CD-RWの取扱いについて**
CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱いので傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。

● 次のようなディスクは使用しないでください。本体内部にディスクが張り付いて取り出せなくなったり、大切なディスクが反って音飛びしたりディスクに傷がつく原因となります。

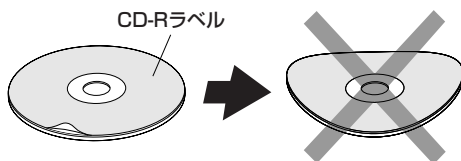
- ・ 中古ディスクやレンタルディスクなどでシールなどのノリがはみだしたり、シールをはがしたあとにノリが付着しているもの。またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの



- ・ レンタルディスクなどでシールが張ってあるもの(特にめくれているもの)



- ・ 記録面に保護シールなどを張ってあるもの
- ・ ラベル面にCD-Rラベルなどのラベルやシールを張ったもの

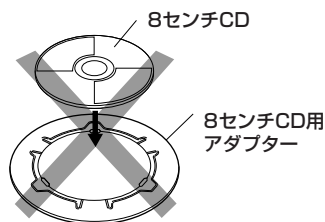


CD-Rラベルなどが張ってあると、本機内部の温度上昇によりディスクが反って音飛びや再生停止などを起こすことがあります。

- ・ ラベル面に印刷できるインクジェットプリンター対応CD-R(印刷したもの)

※CD-Rラベルや印刷可能CD-Rの「使用上のご注意」などをよくお読みになり、正しくお使いください。

- ハートや花などの形をした特殊形状のディスクは、絶対に使用しないでください。円形以外のディスクを使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。8センチCDは、そのまま挿入してください。

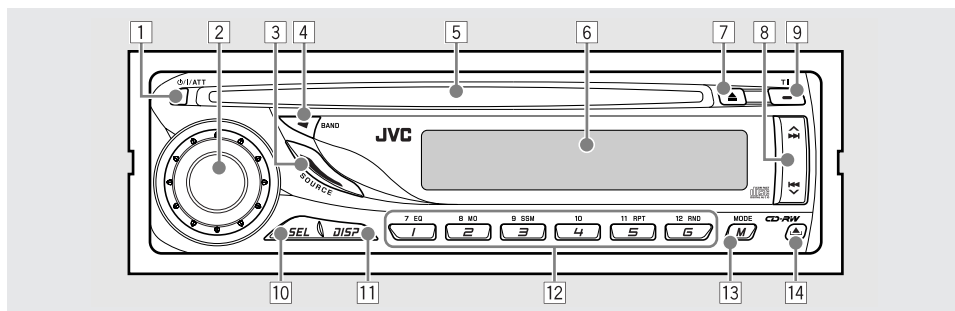


- ディスクを長時間使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。

コントロールパネルの使いかた

各部の名前

-()内のページに説明があります。



1 電源ボタン (9)

電源を「入/切」するとき押します。「切」にするときは1秒以上押します。

ATT(アッテネーター)ボタン (9)

一時的に音量を下げるときは「ポン」と押します。

2 回転ボリューム (9, 10, 19, 21)

- 音量を調節するとき回します。
- メニュー表示中は、設定値の調節をすることができます。

3 SOURCE(ソース)ボタン (9, 11, 15, 18)

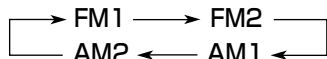
ソース(音源)を選ぶとき押します。押すごとに次のように切り換わります。

ラジオ
バンド名 ←→ DISC*

*本機にディスクが入っているとき選べます。

4 BAND(バンド)ボタン (9, 11)

ソース(音源)がラジオのとき、バンドを切り換えます。押すごとに次のように切り換わります。



5 ディスク挿入口 (15)

6 表示窓(ディスプレイ)

7 ▲(ディスク取出し)ボタン (9, 15, 18, 24)

ディスクを取り出すとき「ポン」と押します。

8 ▶▶/◀◀ ボタン

ソース(音源)や表示されるメニューによって働きが異なります。

ソース(音源)	▶▶/◀◀ ボタン
「DISC」	<ul style="list-style-type: none"> 押し続けると早送り/早戻し再生になります。 「ポン」と押すと曲の頭出しができます。
ラジオ	<ul style="list-style-type: none"> 「ポン」と押すとオート選局になります。 押し続けると、マニュアル選局になります。

9 TI(交通情報)ボタン (14)

交通情報を聞くとき押します。

10 SEL(セレクト)ボタン (10, 19, 21)

音量・音質調節のモードが選べます。2秒以上押すと、時計合わせなどのPSMモードになります。

11 DISP(ディスプレイ)ボタン

表示窓(ディスプレイ)の表示を変えるとき押します。(9, 13, 16)

12 数字ボタン

- CDの曲番号やラジオのプリセット番号を選ぶとき押します。(13, 14, 17)
- 「MODE」が点滅表示しているとき、ファンクションボタンとして働きます。(12, 13, 17, 18, 20)

13 MODE(モード)ボタン

数字ボタンの働きを一時的に変えることができます。(12, 17, 18, 20)

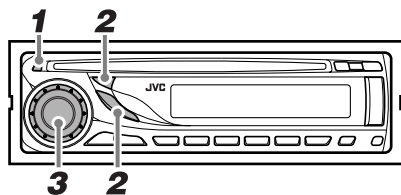
14 ▲(コントロールパネル取り外し)ボタン (9, 22)

コントロールパネルを取り外すとき押します。

基本操作

準備

- 車のエンジンをかける。本機はエンジンキーが「OFF」または「ACC OFF」の状態では電源を入れることができません。



1 を押して電源を入れる


表示窓が点灯し、電源を切る前のソース(音源)が表示されます(初期設定「FM1」)。

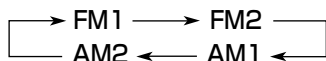
2 を押してソース(音源)を選ぶ

押すごとに、次のようにソース(音源)が切り換わります。

ラジオ
バンド名 ←→ DISC*

*本機にディスクが入っているとき選べます。

 BAND : ソース(音源)がラジオのとき、押すごとにバンドが切り換わります。




3 を回して音量を調節する


音量を下げる ←  → 音量を上げる

調節範囲は「VOL 00」から「VOL 50」までの51段階です(初期設定「VOL 15」)。


- 音量を一時的に下げる

 を「ポン」と押します。「ATT」が点滅表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

- 電源を「切」にする

 を1秒以上押します。電源が「切」になります。

- 車のエンジンキーが「OFF」でも次のボタンは、操作ができます。

 : ▲(ディスク取出し)ボタン

 : ▲(コントロールパネル取り外し)ボタン

 : DISPボタン
5秒間の時刻表示

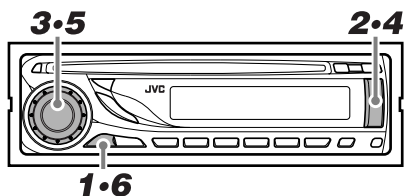
ただし、電源を「入」にすることはできません。

〈お知らせ〉

- スピーカーの音量・音質調節は21ページをご覧ください。

時計を合わせる

- 各操作には時間制限があります。15秒以上間隔を空けないで次の操作を行ってください。



1 SEL を2秒以上押す

PSM*メニュー(→ 19ページ)表示になり、前回選んだ項目が表示されます。

例:「DEMO」が表示されているとき



2 を押して「CLOCK H(時)」 を選ぶ



3 を回して「時」を合わせる



4 を押して「CLOCK M(分)」 を選ぶ




-  を押すと、「CLOCK H」に戻ります。

5 を回して「分」を合わせる



6 SEL を押す

ソース(音源)の表示に戻ります。

 を押さないときは、15秒後にソース(音源)の表示に戻ります。

* PSMとは・・・

プリファード セッティング モード

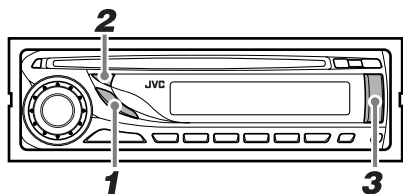
Preferred Setting Mode(優先設定モード)の略です。

〈お知らせ〉

- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時刻を合わせ直すときも手順1～6の操作をします。

ラジオを聞く

放送局を選ぶ

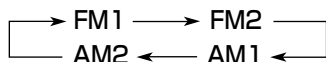


1 を押してラジオ(バンド名表示)を選ぶ

ボタンを押すごとにソース(音源)が切り換わります(→ 9ページ)。

2 を押してバンドを切り換える

押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。




例: FM1のとき
ステレオ放送を受信すると表示されます



現在のバンド名が表示されます


3 または を押して選局する

周波数が下がります。  周波数が上がります。

- オート選局(シーク):
「ポン」と押す。
本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- マニュアル選局:
1秒以上押して「M」を点滅表示させた後、「ポン・ポン」と押して選局する。
 - ・ FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

〈お知らせ〉

- 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。このようなときは、受信状態の良い場所へ移動してもう一度

 または  を押してください。

- マニュアル選局のモードは、選局の操作をやめてから5秒後に自動で解除されます。
- AM放送はモノラル受信です。

アンテナリモートについて

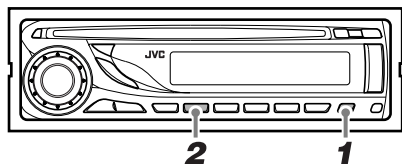
- 電動アンテナ装備車およびアンテナプースター装備車の場合は、アンテナコントロール電源コードを車両側の対応する端子(アンテナコントロール)に接続してください。ソース(音源)をラジオにすると自動的にアンテナ(プースター)側に電源が供給されます。「DISC」にソース(音源)を切り換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

(アンテナコントロール電源コードの)
最大コントロール電流は250mAです)

ラジオを聞く(つづき)

FM放送が雑音で聞きにくいときは

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送のモードを切り換えます。



1 FM放送受信中に **MODE** を押す

「MODE」が点滅表示されます。



5秒以内に

2 **MONO** を押して「MONO」を選ぶ

MONO を押すごとに「MONO」と「MONO OFF」が交互に切り換わります。



MONO: FM放送はモノラル受信となり雑音が少ないになります。通常の表示に戻ると表示窓に「MO」が点灯します。

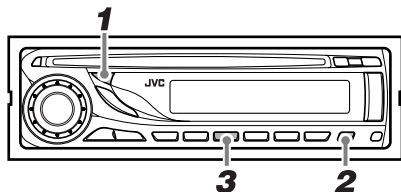
MONO OFF: FM放送はステレオ受信になります。ステレオ放送を受信中は表示窓に「ST」が点灯します。

もう一度**MODE**ボタンを押すかまたは、5秒間何も操作しないと、通常の表示に戻ります。

放送局を自動で記憶(メモリー)させる

電波の強いFM放送局を自動選局し記憶させることができます(**SSM**…ストロングステーションメモリー機能)。

- **SSM**機能を使うと、すでにそのバンドに記憶してあった放送局は取り消されます。



1 **BAND** を押して「FM1」または「FM2」を選ぶ

バンドごとにそれぞれ6つまで放送局を記憶させることができます。

例:FM1のとき



2 **MODE** を押す

「MODE」が点滅表示されます。



5秒以内に

手順**3**に進んでください。

3 を1秒以上押す

「SSM」が点滅表示されます。



自動選局が始まり、周波数の低い順に最大6つまでのFM放送局を数字ボタンの1~6に記憶していきます。



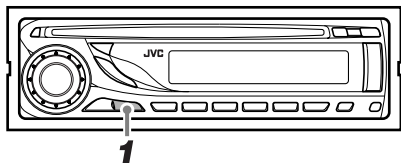
すべての記憶が終わると、数字ボタンの「1」に記憶された放送局が選局されます。

〈お知らせ〉

- 放送局が6局より少ないときは、記憶されなかった番号には以前の記憶内容が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまく記憶されないことがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。
- AM放送のときはSSM機能が動きません。

時刻を確認する

放送受信中に、表示を変えることができます。



1 を押す

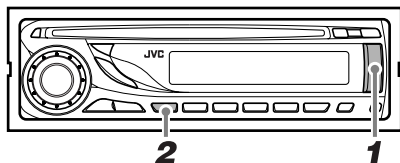
ボタンを押すごとに「時刻表示」 ↔ 「周波数表示」が選べます。

放送局を選んで記憶(メモリー)させる

SSM機能を使って自動で記憶させるほかに、放送局を選んでから1局ずつ手動で記憶させることもできます。

- 数字ボタンの記憶順を変えたり、新しい放送局を追加するときなどに便利です。
- この操作は、SSM機能で放送局を記憶させた後にしてください。FM放送の場合、あとからSSM機能を利用すると、記憶させた放送局が取り消されることがあります。
- AM放送は、この手順で放送局を記憶(メモリー)させてください。

例: FM放送の81.3 MHzを数字ボタン  に記憶させる

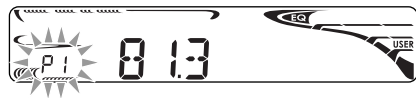


1 選局ボタンでFM81.3MHzを選局する

「放送局を選ぶ」のオート選局(シーク)またはマニュアル選局(→ 11ページ)をご覧ください。

2 を2秒以上押す

「P1」が点滅表示され、放送局が記憶されます。



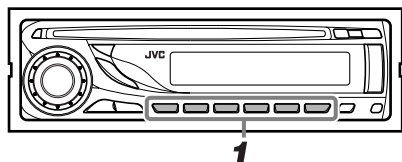
〈お知らせ〉

- 数字ボタンは必ず2秒以上押し続けてください。押し時間が短いと記憶されません。
- プリセット番号表示は、しばらくするとバンド名表示に戻ります。
- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、記憶(メモリー)した放送局は取り消されます。また、その他全ての設定は初期設定に戻り、時刻表示も「1:00」に戻ります。電源を接続したらもう一度設定し直してください。

ラジオを聞く(つづき)

放送局を呼び出す(プリセット選局)

数字ボタン1~6に記憶されている放送局をワンタッチで選局することができます。



1 数字ボタンの1~6のいずれかを押し選局する

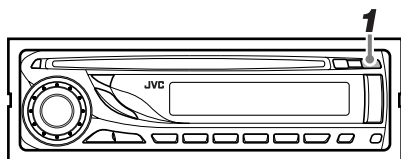


〈お知らせ〉

- 数字ボタンは2秒以上押し続けしないでください。

道路交通情報を聞く

高速道路などの特定地域では、AM1620 kHzまたはAM1629 kHzで道路交通情報を聞くことができます。





1 TI を押す

TI*ボタンを押すと、ソース(音源)に関係なくAM1620kHzが受信できます。



AM1629kHzで道路交通情報を放送しているときは:

 または  を押します。もう一度押すと「AM1620kHz」に戻ります。

元のソース(音源)に戻すときは:

もう一度  を押します。

〈お知らせ〉

- TIボタンを押して道路交通情報を聞いているときは、他のソース(音源)とは独立して音量調節ができますので、聞きやすい音量に調節してお使いください。
もう一度TIボタンを押して元のソース(音源)に戻すと、音量も元に戻ります。

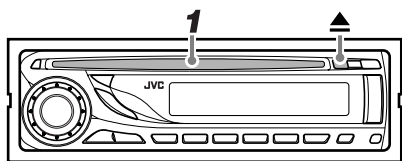
* TIとは・・・

トラフィック インフォメーション

Traffic Information(交通情報)の略です。

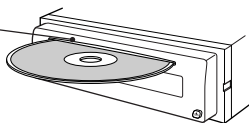
ディスクを再生する

ディスクを再生する



1 ディスクを入れる

文字のある面
を上にする



途中まで入れると、ディスクが自動で中に引き込まれます。
ソース(音源)が「DISC」になり再生が始まります。

再生を止めるまで、すべての曲がくり返し再生されます。

再生を止める:



を押して他のソース(音源)に切り換えます。

- 再度ソース(音源)に「DISC」を選ぶと停止したところから再生を再開します。
- ディスクの取出しかた
▲(ディスク取出し)ボタンを押します。

● 8センチCDの入れかた

8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れて入れます。

〈お知らせ〉

- 文字のある面に次のいずれかのマークが入っているディスクをお使いください。



- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。ディスクを再生するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。
- 「PLAY — —」表示中は、ディスクを読み込んでいます。読み込みが終わると、再生が始まります。
- ▲(ディスク取出し)ボタンを押すとディスクが出てきます。このときディスクを取らずにそのままにしておくと15秒後に再び中に引き込まれます。このとき、ディスクの再生は始まりません。

CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用CD(CD-DA)フォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のディスクより低いため再生が始まるまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置すると、記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- MP3/WMAフォーマットには対応しておりません。

ディスクを再生する(つづき)

ディスク挿入後の表示について

- CDを挿入すると、「PLAY — —」が表示されます。



再生中の表示内容を変える

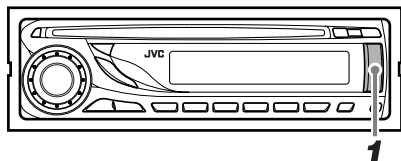
1 DISP を押す

ボタンを押すと、表示内容を変えることができます。



早送り/早戻しをする(サーチ)

再生する速度を変えて、聞きたいフレーズに素早く移動できます。



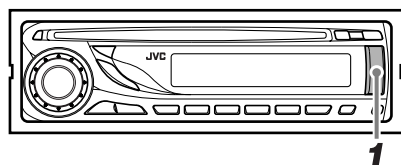
1 [FF] または [REW] を押し続ける

早戻し再生になります。 [FF] 早送り再生になります。

ボタンを離すと、通常の再生に戻ります。

頭出しをする(スキップ)

前後の曲の頭にスキップすることができます。



1 [SKIP] または [SKIP] を押す

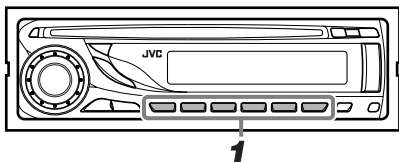
ボタンを押すごとに前後の曲の頭に移動します。

現在の曲の頭 または、前の曲に移動します。 [SKIP] 次の曲の頭に移動します。

ダイレクト再生

● 1～12曲目を選ぶ

1～12曲目までの聞きたい曲をダイレクトに選べます。



1 数字ボタン(1～6)を押す



- 1～6曲目を選ぶときは、数字ボタンの1～6のいずれかを「ポン」と押します。

例：3曲目を選ぶ

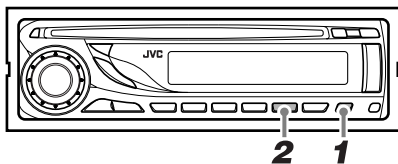
を「ポン」と押します。

- 7～12曲目を選ぶときは、数字ボタンを1秒以上押します。

例：12曲目を選ぶ

を1秒以上押します。

リピート再生



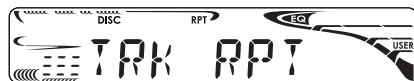
1 を押す

「MODE」が点滅表示されます。



2 を押す

リピート再生のモードが表示されます。



を押すごとに、リピート再生のモードが切り換わります。

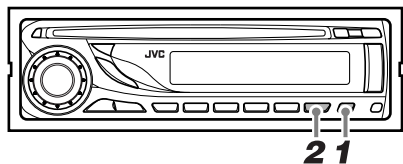
TRK RPT：現在の曲をくり返し再生
表示窓に「RPT」が表示され
ます。



RPT OFF：全曲をくり返し再生

ディスクを再生する(つづき)

ランダム再生



1 MODE を押す

「MODE」が点滅表示されます。




2 12 RND を押す

ランダム再生のモードが表示されます。



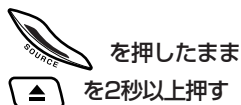
12 RND を押すごとに、ランダム再生のモードが切り換わります。

DISC RND : CD内の全曲をランダムに再生
表示窓に「」と「RND」が表示
されます。

↑ ↓
RND OFF : ランダム再生を解除

ディスクの盗難防止

本機に挿入したディスクを取り出せなくすることができます。



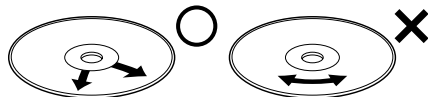
- 「NO EJECT」と点滅表示され、ディスクの取り出しができなくなります。
- ディスクの盗難防止機能を解除する
もう一度、盗難防止の設定と同じ操作をすると、盗難防止機能は解除されディスクが出てきます。

〈お知らせ〉

- リセットの操作(⇒ 23ページ)をすると盗難防止機能は解除されます。

ディスクのお手入れ

ディスクを挿入する前に、再生面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。



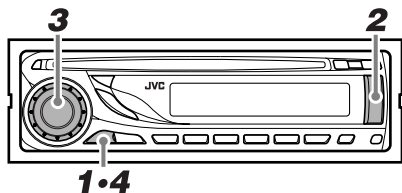
必ず内側から外側に
ふく。

連続したキズは音飛
びの原因になります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

SELボタンを使った各種設定と調節

PSMモードの設定方法



1 SEL を2秒以上押す

PSMメニューが表示されます。

2 [] または [] を押してPSMメニューの項目を選ぶ

→ 下の「PSMモードの一覧」をご覧ください。

3 [] を回して設定または調節をする

各項目の設定の詳細は、下の「PSMモードの機能説明」をご覧ください。

4 SEL を押す

[] を押さないときは、15秒後に自動で終了します。

〈お知らせ〉

- 各操作は、15秒以上間隔を空けないでください。
- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、設定した内容は初期設定に戻ります。

PSMモードの一覧

設定内容の太字は出荷時の設定です。

モード	設定	設定内容
DEMO	デモ設定	DEMO ON 、DEMO OFF
CLOCK H	時刻設定(時)	1~12
CLOCK M	時刻設定(分)	00 ~59
AMP GAIN	アンプ出力設定	HIGH PWR 、LOW PWR

PSMモードの機能説明

DEMO(デモ)

20秒以上操作をしないと、自動でデモ表示をさせるかどうかを設定します。(初期設定:「DEMO ON」)

- DEMO ON: デモ機能を「入」にします。
- DEMO OFF: デモ機能を「切」にします。

CLOCK H/M(クロック)

「時(H)」/「分(M)」ごとに、時刻を設定します。時計は12時間表示です。(初期設定:「1:00」)

AMP GAIN(アンプゲイン)

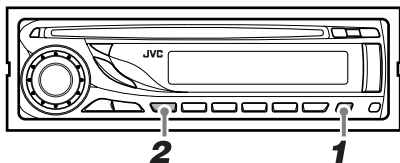
純正スピーカーを壊さないために、本機に接続しているスピーカーの最大入力ワット数に合わせて設定します。(初期設定:「HIGH PWR」)

- HIGH PWR: スピーカーの最大入力が45Wを超えるとき
(VOL 00 ~ VOL 50)
- LOW PWR: スピーカーの最大入力が45W以下のとき
(VOL 00 ~ VOL 30)

C-EQ*の使いかた

EQパターンを選ぶ

本機には、あらかじめ6つのEQパターンが記憶されています。



● 選択可能なEQパターン

- ・ USER : ユーザー設定(フラット)
- ・ ROCK : ロック
- ・ CLASSIC : クラシック
- ・ POPS : ポップス
- ・ HIP HOP : ヒップホップ
- ・ JAZZ : ジャズ

1 を押す

「MODE」が点滅表示されます。

5秒以内に

2 を押す

押すごとに、EQパターンが切り換わります。



＜お知らせ＞

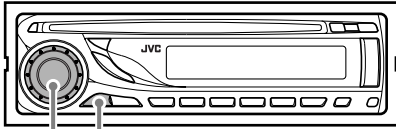
- ご自分で音量・音質を調節すると(⇒ 21ページ)、そのとき選択されていたEQパターンに設定が記憶されます。
- リセットの操作をすると(⇒ 23ページ)、調節した各EQパターンの設定は初期設定に戻ります。
- 各EQパターンの初期設定は次のようになっています。音量・音質の各設定項目については「音量・音質の調節」をご覧ください(⇒ 21ページ)。

音量・音質の設定

		BAS	TRE	S.BS
EQ パ タ ー ン	USER	00	00	OFF
	ROCK	+03	+01	ON(03)
	CLASSIC	+01	-02	OFF
	POPS	+04	+01	OFF
	HIP HOP	+02	00	ON(03)
	JAZZ	+02	+03	OFF

- * C-EQとは：
Custom Equalizer(カスタム イコライザー)の略で等化器とも呼ばれ、周波数特性に変化を与える回路の総称です。

音量・音質の調節



2 1

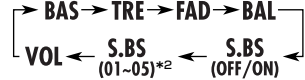
●調節項目

- **BAS***1: 低音域の音量調節をします。
- **TRE***1: 高音域の音量調節をします。
- **FAD**: フロントスピーカーとリアスピーカーの両方を接続しているとき、前後の音量調節をします。フロントスピーカーまたはリアスピーカーのみ接続しているときには「00」に調節してください。
- **BAL**: 左右の音量バランスを調節します。
- **S.BS***1: 低音域を強調することで、迫力あるサウンドがお楽しみいただけます。
- **VOL**: スピーカーからの音量調節です。

*1 「BAS」「TRE」「S.BS」の設定は、調節をするときに選ばれているEQパターンに記憶されます。

1 SEL を押して調節したい項目を選ぶ

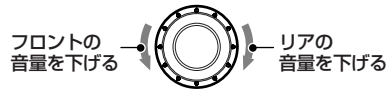
押すごとに、項目が切り換わります。



5秒以内に

2 を回してレベルを調節する

例：FADを調節するとき



*2 「S.BS」が「ON」に設定されているときに表示されます。

●初期設定と調節範囲

	初期設定	調節範囲
BAS (バス)	00	-06~+06
TRE (トレブル)	00	-06~+06
FAD (フェーダー)	00 (センター)	リア フロント R06~F06
BAL (バランス)	00 (センター)	LEFT ライト L06~R06
S.BS (スーパーバス)	OFF	OFF/ON(01~05)*3
VOL (ボリューム)	15	00~50 (00~30*4)

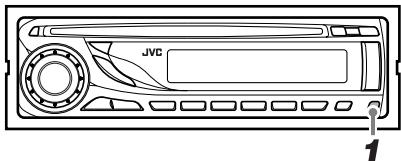
*3 「S.BS」を「ON」に設定すると表示窓に「S.BASS」が表示されます。

*4 「AMP GAIN」設定(➡ 19ページ)を「LOW PWR」に設定すると最大音量が「30」になります。

コントロールパネルの着脱

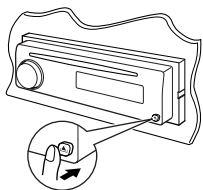
コントロールパネルを外す

コントロールパネルを取り外すことができます。
電源を「切」にしてから操作します。

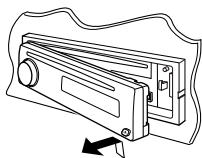


1 を押す

コントロールパネルのロックが外れます。

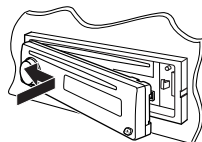


2 コントロールパネルを ゆっくり本体から外す

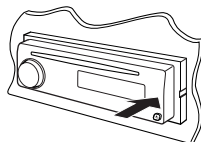


コントロールパネルを取り付ける

1 コントロールパネルを本体 の内側の溝に左側から合わせ せる



2 コントロールパネルの右側 を静かに押して、本体に取り 付ける




〈お知らせ〉

- お買い上げ時は、コントロールパネルが本体から外れています。

故障かな?と思う前に

—おや?故障かな?と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください。—

コントロールパネルの着脱・故障かな?と思う前に

症 状	原因・処置
<p>どのボタンを押しても正しく動作しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。 → リセットの操作をする。  <p>SELボタンを押したまま… → 〇/I/ATT (電源) /ATTボタンを2秒以上押す。</p> <p>このとき、本機にCDが入っていると、CDが出てきますので、落とさないようご注意ください。 (時計の設定や放送局などの記憶内容が取り消され、工場出荷時の状態に戻ります)</p>
<p>電源を切っても「ATT」が点滅表示する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ATT動作になっている。 → 〇/I (電源) /ATTボタンを1秒以上押して電源を切る。 (→ 9ページ)
<p>電源が入らない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源(ACCライン)のコードが接続されていないため。 ● 車のエンジンキーが「OFF」またはACC「OFF」のため。 (→ 9ページ)
<p>ディスクの取り出しができない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 盗難防止状態になっている。 → SOURCEボタンを押したまま▲ボタンを2秒以上押す。(→ 18ページ)
<p>ディスクを入れても音が出ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量を適度に調節する。 ● 内部のレンズが結露(つゆつき)している。 → ラジオを聞くなどして1~2時間待つ。 ● CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクを使用している。 → ディスクのマークを確認する。(→ 15ページ)
<p>CD-R/RWディスクの再生やスキップ再生ができない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ファイナライズ処理がされていないため。 → ファイナライズ処理したディスクと交換する。 または録音した機器でファイナライズ処理をする。
<p>ディスクが出てくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクが裏返しに入っている。 → 文字のある面を上にしてディスクを入れ直す。

故障かな?と思う前に(つづき)

症 状	原 因 ・ 処 置
ディスクの出し入れのとき音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ●この動作のときは、音声にミュートイングをかけて雑音の発生を防いでいるためで故障ではありません。
再生の途中でディスクが音飛びしたり停止する。	<ul style="list-style-type: none"> ●CD-R/RWディスクにラベルなどが張ってあるため、温度上昇によりディスクが反っている。 →ラベルなどを張ったディスクは使用しない。(→7ページ)
放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナの接続を確かめる。またはアンテナが十分に伸びているか確かめる。 ●オートアンテナコントロール端子(またはアンテナプースター電源端子)に本機の「アンテナコントロール電源」コード(青)を正しく接続する。 ●車両側のアンテナ線からアンテナコントロール端子が出ている場合、本機の「アンテナコントロール電源」コード(青)をこの端子に接続する。 ●放送局の周波数に正しく合わせる。 ●携帯電話などを本機から離す。

こんな表示のときは

表 示	原 因 ・ 処 置
NO DISC	<ul style="list-style-type: none"> ●CDが入っていないとき▲(ディスク取出し)ボタンを押したため。 →CDを入れる。
00' 00"	<ul style="list-style-type: none"> ●Mixed-CDを再生しようとしている。 →数字ボタンなどを押して2曲目以降にスキップする。

ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、記憶(メモリー)した放送局は取り消されます。時刻表示は「1:00」に戻ります。電源を接続したらもう一度始めから放送局や現在時刻を設定し直してください。

〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

故障かな?と思う前に・保証とアフターサービス

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーAV 製品サービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

持込修理

23~24ページの「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎() -

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
 - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- サンプリング
周波数：44.1kHz
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：5Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：96dB
- S N 比：98dB

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1
(JASOプラグ仕様)
- FMチューナー部
- 受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
- 実用感度：14.3dBf(1.43 μ V/75 Ω)
- AMチューナー部
- 受信周波数：522kHz～1,629kHz
- 実用感度：27dB μ (22.4 μ V)

オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 45W+45W
(4 Ω , 1kHz)
リア 45W+45W
(4 Ω , 1kHz)
- 適合インピーダンス：4 Ω (4 Ω ～8 Ω で使用可能)
- 出力端子：LINE OUT(1系統)、
2V/1k Ω

電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)
マイナスアース専用
- 取付寸法：幅178mm×高さ50mm×
奥行150mm
- 外形寸法：幅178mm×高さ50mm×
奥行168mm
- 質量：約1.2kg(付属品含まず)

付属品

- ・接続コード(16ピンコネクター) 1
- ・ネジ(M5×8mm) 4
- ・皿ネジ(M5×8mm) 4

別売りのオプション品

RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)
CN-510E(長さ1m)
CN-520E(長さ2m)

- 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
(品番は変更されることがあります)

索引

アルファベット

BTL	6
CD規格(CD-DA)	15
EQパターン	20
PSM	10、19
SSM	12

ア行

アンテナコントロール電源	11
アンテナリモート	11
オート選局(シーク)	11
音楽用CDフォーマット	15

サ行

サーチ	16
シーク	11
スキップ	16
スーパーパス	21
スピーカーコード	6

タ行

ダイレクト再生	17
デモ表示機能	表紙、19
盗難防止	18
道路交通情報	14
トラブル	21

ハ行

バス	21
バランス	21
バンド	9
ヒューズ	6
フェーダー	21
プリセット選局	14

マ行

マニュアル選局	11
メモリー	12、13

ラ行

ランダム再生	18
リピート再生	17

お手入れ

本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶ**きしてください。

汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶ**きしてください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

アンケートおよびユーザー登録のお願い

このたびは、ビクター商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

今後のよりよい商品の開発に反映させるために、アンケートおよびユーザー登録にご協力をお願いいたします。

- 下記アドレスのホームページより、ご回答ください。

<http://www.jvc-victor.co.jp/reg/car/>

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。


転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
JVCカーAV お客様ご相談センター

別紙の

「JVCカーAV 製品サービス窓口案内」をご覧ください。

 0120-977-846 (フリーコール)

FAX (027)254-8927

受付時間 10:00～18:00

(土、日、祝日、当社休日を除く)

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

- ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについては、**25**ページをご覧ください。

ビクターホームページ
カーAV ホームページ

<http://www.victor.co.jp/>
<http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

JVC

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12